

## 要 約

試験委託者：環境省

表 題：7-メチル-1,6-オクタジエンのヒメダカ (*Oryzias latipes*)  
に対する急性毒性試験

試験番号：A020374-4

試験方法：

- 1) 適用ガイドライン：OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類急性毒性試験」  
(1992年)
- 2) 暴露方式：半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物：ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間：96時間
- 5) 試験濃度：対照区, 助剤対照区, 0.600 mg/L (試験液調製可能最高濃度の  
(設定値) 限度試験)  
助剤濃度：100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド 使用)
- 6) 試験液量：5.0 L/容器
- 7) 連 数：1 容器/試験区
- 8) 供試生物数：10尾/試験区
- 9) 試験温度：24 $\pm$ 1  $^{\circ}$ C
- 10) 照 明：室内光, 16時間明 (1000 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法：ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)

試験結果：

- 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、暴露開始時において106%、24時間後において70%であった。水中からの50%揮散速度は約7時間であることから、減少の主な原因は、揮散と考えられた。

- 2) 96時間暴露後の半数致死濃度 (LC50)：>0.515 mg/L (95%信頼区間：算出不可)